



北村 あや子 区政ニュース

荒川区議会 11 月会議スタート

荒川区議会 11 月会議が 11 月24日からスタート。子育て支援などを盛り込んだ補正予算も上程されています。日本共産党区議団は長引くコロナ禍、物価高騰から区民を守る施策を求めてきました。独自支援策の中に要望が盛り込まれました。更なる改善・拡充も提案します。

一方で、区立幼稚園廃園計画に関しては、廃園を名指しされた幼稚園すべての来年度の 3 歳児入園申し込み人数が最少人数以下となりました。ルール通りクラス編成をしないと区は言いますが、保護者らからはクラス編成をしてほしいという新たな陳情が区議会に出されています。

11月会議 条例案など5件

荒川区子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	→ こども家庭庁設置での法改正に伴い、引用する法の条項ずれを整備
荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	→ 来年10月1日から区の廃棄物処理手数料値上。粗大ごみ重さにより100～400円、事業系一般廃棄物1キロ40円→46円など)
荒川区自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	→ 自転車等駐車場の使用料変更を議会議決なしで可能とするように改定
令和4年度荒川区一般会計補正予算(第4回) 4億2589万6千円を補正	→ 子育て世帯給付金支給事業、保育所など物価高騰緊急対策事業、タクシー料金改定に伴う負担軽減対応、原油価格物価高騰等対策支援事業補助金創設
荒川区自転車等駐車場の指定管理者の指定について	→ センターまちやなど区内4か所の指定管理者を(株)ソーリンに選定

街の声 ～公園・児童遊園編～ 子どもには遊ぶ権利があります



★西尾久 4 丁目南児童遊園(ニュー田端スカイハイツ南東側)について 2 点ご意見をいただきました。

- ①遊園内の砂が外部に出ない ように仕切る丸太が段差となって危ない→人工芝に置き換えて段差を解消
- ②樹木の根が張り出してブロックが外れている→外れて危険なブロックは除去

★西尾久4丁目都営アパートの公園にある複合遊具が長期にわたって壊れたまま・・・。

③遊具をつなぐわたり廊下がベニヤ板で封鎖してある。→今年度中に撤去する予定



④壊れたとび石の部分は黄色テープが巻いてある。→とび石部分は来年度改修予定。部品の入荷に時間がかかっているそうです。

また、遊具の汚れが激しかったので、清掃を依頼しました。子どもたちの遊びを保障するためにも、壊れた遊具の改修は早くするよう、求めました。他にもお気づきの点があれば、お聞かせください。



日時:12月16日(金) 18:30~20:00 **要予約**

会場:北村あや子事務所(西尾久2-4-8) TEL&FAX:03-3894-6668

日々の生活、仕事・・・ひとりで悩まずご相談ください。弁護士と北村が相談をうかがいます。生活相談はいつでもどうぞ。留守電の場合は、お名前と電話番号を録音してください。



発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



小中学校の給食無償化が全国224自治体で実施



日本共産党区議団は教育費無償や子育て支援の観点から、学校給食費の負担軽減や無償化を求め、条例提案や議会質問で取上げ続けてきました。学校給食は学校教育活動の一環であり、食育として子どもの食生活の改善や健康な体づくりのために大切な役割を担っています。「7人に1人の子どもが相対的貧困状態にあり、コロナ禍と物価高騰の下で、無償化の願いがかつてなく広がっているのではないのでしょうか。

2017年には小中学校とも無償化した自治体数は76でしたが、現在は224自治体になりました。5年間で3倍になり、青森市や、宮城県富谷市など大都市にも広がっています。

23区初、葛飾区で学校給食完全無償化へ

葛飾区はこれまでも第3子の給食費の全額補助(2013年度から)をしてきました。

今回「学校給食を安定的に提供し、児童・生徒の心身の健全な発達を促すとともに教育環境のいっそうの充実を図るため」と

して区立の小中学校給食費の完全無償化を来年4月から実施することを決めました。

また、千葉県・市川市も(人口49万人)「子どもの成長を社会全体で支え、安心で充実した食の環境を整えるため」として来年1月から中学校等で先行実施、4月から小学校でも実施するとしています。

荒川区より人口の多い自治体で無償化が進んでいます。荒川区でも実現できないはずはありません。

子どもの医療費無料化の対象年齢引き上げ(18歳まで・来年4月から実現)に続いて実現させましょう。

荒川区の学校給食費 (1人あたり・年間)
小学校低学年 45,008円
中学年 50,440円
高学年 55,096円
中学校 60,291円

	人口	対象人数	必要経費(就学援助含む)	2022年度一般会計
葛飾区	463,033人	29,269人	17億円	2120億円
荒川区	215,905人	12,531人	6.5億円	1071億円

(人口・対象人数は5月1日現在)

学校給食の無償化を！東京都へ要請

日本共産党都議団、区市町村議団は、11月7日、東京都に対して、学校給食の無償化促進を求める要請をおこないました。荒川区議団も参加しました。全国で200を超える自治体で無償化に踏み出し、東京でも1町4村、そして来年度から葛飾区で実施すると決定。東京都がすべての都内自治体に財政的支援をおこない、役割を果たすべきです。要請を受けた担当課長は「学校設置者の区市町村が考えるべき課題」と冷たい対応でしたが、さらに世論を広げたい。



若者相談窓口が年内設置予定

要求実現！



若者の様々な相談をワンストップで受付ける相談事業が始まります。年内にスタートする予定です。当面、電話とメールで受付し、必要に応じて面接相談、同行支援を行うとしています。豊島区「子ども若者総合相談『アシス豊島』」を運営しているワーカーズコープが契約候補とのこと。

私は今年3月の予算特別委員会で、思春期やハイティーン、青少年向けの相談事業を始めてはどうかと提案していたので、要望が実現してよかったです。詳細が決まりましたら改めてお知らせします。左の画像は豊島区リーフレットより

アシスとしまとは…

子ども若者ご本人の気持ちや思いに寄り添って相談・支援を進めていきます。セミナーや居場所の会などのご紹介のほか、必要に応じて専門機関と連携しながら、相談者一人ひとりに合わせた支援プログラムを実施します。

また、子ども若者支援ワーカーが地域に直接出向いてお話を伺うアウトリーチも行っていきます。

対象者

区内在住、在学、在勤の子どもとおおむね39歳までの若者

※上記の方に関するご相談であれば、家族、友人、パートナー、知人、同僚、関係機関の方からもご相談をお待ちしております。

受付時間

月曜日～金曜日
8:30～16:30
<祝日・年末年始を除く>

※上記以外の日時を希望される方はご相談ください。
※電話・来所相談の最終受付時間は16:30です。
16:30～17:15は予約受付のみ承ります。

相談無料・匿名OK!

詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

[豊島区 アシスとしま](#)

発行：令和4年4月

どこに、誰に話したらいいかわからなかった、あなたの“気持ち”“思い”を聞かせてください！

豊島区子ども若者総合相談

アシスとしま

一人で抱えこまないで！
私たちがアシストします!!